

カリキュラム・オーバーロードの改善を求める意見書

今、学校現場では、小中学校、高校を合わせると 41 万人を超える不登校の子どもの数(23 年度)が文科省の調査で明らかになっています。とりわけ小中学校では 11 年連続で増加し、過去最多となっています。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態等を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。

つきましては、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

- 1 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善、および学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

上記については、地方自治法第 99 条の規定により意見書として関係機関へ提出するものとする。